授業科目	子どもと絵本					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期
担当教員	戸田　由美、阿南　寿美子						
授業概要	絵本は子どもの感性を豊かにし、想像力や思考力、言葉や共感性など様々な能力を身につける一助となる。しかし、これらは結果として身につくものであり、目的となるものではない。このような基礎的事項を押さえながら、本講座では絵本に関する知識を講義だけでなく、テーマに沿ってグループワークやディスカッション等を行う。						
授業形態	演習			授業方法	グループワークや課題作成・発表を行います。		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	本講義は認定絵本士取得に関連する科目である。種々の専門性を持った外部講師を招聘し、資格に関連する幅広い知識や技能を習得し、豊かな感性が育まれることを目指す。また、絵本に関する「選択力」「コーディネート力」「企画力」「コミュニケーション力」「表現力」「指導力」が培われることを目的とする。 絵本の種類について理解し、特性に合わせた選書をすることができる。学内 えほんのへや や喜久屋書店でのおはなし会の企画・実践をすることができる。
理想的レベル	「おはなし会」ボランティア等、授業以外の学外活動に積極的に参加し、読書に関する活動を企画・実施することができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	15%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	20%	おはなし会の実践
レポート外の提出物	45%	授業前後に出される課題など
その他	20%	授業への積極的参加

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	-	DP2	-	DP3	○	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	CH21327J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
おはなし会実践の準備や授業で指示した課題（事前・事後）を行う。	1

授業計画

第 1 回	オリエンテーション（阿南・戸田） 「子どもと絵本」受講について、授業の目的及び授業日程について理解する。 おはなし会の担当及び内容を決める。
第 2 回	絵本各論① / 絵本の歴史、絵本賞について（戸田・阿南） 世界の絵本や日本の絵本の歴史や代表的な作家の作品、主な絵本賞・児童文学賞について理解する。
第 3 回	子どもの心をとらえるもの / 子どもの心をとらえて離さないもの（阿南・戸田）

	現在の子どもの興味・関心事項について知り、絵本以外のメディアについて、子どもの心を引き付ける表現方法について理解する。
第 4 回	絵本と出会う③ / 図書館等での出会い～絵本の活用及び地域連携の可能性～（外部講師・阿南） 公共図書館の行う自動サービス、地域の読書推進活動における絵本をめぐる活動の展開を理解する。
第 5 回	絵本のある空間 / 絵本のある望ましい空間とは（外部講師・阿南） 子どもにとって魅力的な絵本に関する空間やレイアウトについて理解する。
第 6 回	さまざまなジャンルの絵本② / 昔話、童話を基にした絵本（戸田・阿南） 昔話及び童話を題材にした絵本の特性、絵本における再話や絵本の質のあり方について理解する。
第 7 回	さまざまなジャンルの絵本③ /科学絵本（戸田・阿南） 自然科学・社会科学に関する絵本の特性、科学絵本等の活用方法について理解する。
第 8 回	絵本を紹介する技術② / 書評・紹介文の書き方（戸田・阿南） 絵本の内容及び特質を客観的に捉えることについて理解する。また、書評及び紹介分の書き方を体得する。
第 9 回	絵本の世界を広げる技術③ / 絵本コンシェルジュ術（外部講師・阿南） 相談者の要望に応じた絵本を提案する技術やその前提となる絵本に係る情報収集及び整理の方法について理解する。
第 10 回	絵本を紹介する技術③ / 支援が必要な人々や高齢者への絵本の役割（外部講師・阿南） 障がい者、病児及び高齢者等に対する絵本の役割や効果について理解し、適切な絵本選びと絵本の紹介方法について体得する。
第 11 回	大人の心を豊かにする絵本 / 人生で３度、絵本を手にする喜び、大人にこそ絵本を（戸田・阿南） 絵本が大人に与える影響について理解する。
第 12 回	絵本各論④ / メディアとしての絵本の位置づけ（内部講師・阿南） 情報メディアとしての絵本の特性及び絵本と著作権の関係、電子書籍と子どもの脳の関係について理解する。
第 13 回	絵本が生まれる現場② / 絵本の編集（外部講師・阿南） 絵本の編集者の仕事について理解する。
第 14 回	絵本が生まれる現場① / 作家の感性に触れる（外部講師・阿南） 絵本の作り手の思いについて理解する。
第 15 回	ディスカッション / 認定絵本士としての今後の活動（阿南・戸田） 修得した知識・技能・感性を生かした今後の計画活動について討議し、認定絵本士の役割や行動について理解する。
テキスト	認定絵本士養成講座テキスト（絵本専門士委員会 発行）

参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業の中で適宜紹介します。
課題に対するフィードバックの方法	授業では、毎回振り返りシートを作成していただきます。質問等がある場合には、次の授業、或いはクラスルーム等を用いて回答していきます。
学生へのメッセージ・コメント	「子ども文化」「保育内容 言葉 の指導法」「子ども学基礎演習」で学んだ講座や実習での読み聞かせの経験及び保育室の絵本の環境について振り返りましょう。 学内外で行われている読み聞かせやおはなし会に積極的に参加してください。